

## 大阪体育大学のインターンシップ・プログラムについて

藤 本 淳 也

大阪体育大学 体育学部 助教授



### 要 約

本学では、インターンシップ・プログラムを重要かつ効果的な教育プログラムとして位置づけ、学部教育と大学院教育において充実を図っている。

インターンシップは、体育学部生涯スポーツ学科の必修科目として1999年から実施している。対象は3回生で、2006年の受講生数は154名であった。実施先は、民間・公共スポーツ組織59.7%、医療福祉・障害者関連組織20.8%、野外・青少年スポーツ組織11.7%、教育機関7.8%となっている。また、原則として夏季休暇中に2週間の集中で実施している。本学のインターンシップ・プログラムの特徴は、事前研修と事後研修を実施していることである。まず、事前研修には、スポーツ産業、健康産業、教育機関などでのインターンシップを実施するための理論と実践に関する講義が含まれている。これらの講義は、本学の教員だけでなく各界で活躍する人をゲストスピーカーとして招いて実施している。次に、事後研修には、インターンシップ・レポートの作成、本学卒業生による就職活動体験談の講義、インターンシップのプレゼンテーションが含まれる。本学では、「事前研修」「インターンシップ」「事後研修」という流れを通して、その教育効果を高める取り組みを行っている。

体育学部では、2006年度入学生から新カリキュラムをスタートさせている。新カリキュラムでのインターンシップ・プログラムは、新しく設置したスポーツ教育学科（3コース）と健康・スポーツマネジメント学科（3コース）の全6コース中4コースが必修、1コースが選択必修となっている。3回生での実施となるので実際には2008年度からのスタートとなるが、学部定員480名中約400名が受講する予定である。実施方法は、現在、生涯スポーツ学科が実施している手法を改善・発展して導入する予定である。具体的には、現行の「夏季休暇中の2週間、集中型」に加えて、合計実施日数または合計実施時間を基準とする日程分散実施型を積極的に導入する。大阪体育大学大学院では、特に、修士課程においてプロフェッショナルスクールとして高度職業人の養成を強化するために、2006年度から新カリキュラムを導入した。これまでも、多く大学院生がインターンシップを実施していたが、修了の所要単位としては認められていなかった。新カリキュラムでは、インターンシップの実施によって最大4単位の取得が可能となった。これによって、修士課程1年次に26単位を取得すると、2年次にはインターンシップを実施することで修了所要単位を取得できることになり、長期間の実施が可能となる。インターンシップの単位取得に必要な日数又は時間数は現在検討中である。